

団結し震災乗り越え

第一貨物
武藤社長

「社員、誇りに思う」



武藤 幸規社長

五月六日、第一貨物（武藤幸規社長）の入社式が山形市の本社で行われた。仲間入りしたのは、事務十九人、整備六人、運転・現業四十五人の計七十人の新入社員。同社は、三月十一日の東日本大震災で関連会社や家族合わせ三十人の犠牲者を出しながらも、一致団結し短期間で業務を復旧。大きな苦難を乗り越え、今年度新たなスタートを切った。（矢田 健一郎）

震災では仙台の二支店や右に被害の大きかった地域を除き、気仙沼の両営業所が被災。施設や車両だけでなく、被災者も多かった。武藤社長は「被災者一人、関連会社三人、家族二十六人の命を失った。」「団結力」「不撓（ふとう）」「不立七十周年。地球環境・自然を大切にしているグリーン経営を柱に据える。」「社員が当社で働いてよかったとやりがいを感じ、誇りを持って、家族に伝えていく。」「未来の第一マンを激励した。」「震災発生十日後には特別な。」

70周年で企業 カラーを刷新

「燃料が乏しい中でも輸送を」「切らさない」（武藤社長）強い決意で全社挙げて業務に当たった。震災発生十日後には特別な。」

質を追求していく」（武藤社長）。

車両やユニフォームのデザインを含め、コーポレートカラーも一新。安全（Safety）、環境（Ecology）は緑、強さ（Power）は黒、法令順守（Compliance）と品質（Quality）は白で表現。頭文字の「PS E C Q（ピーセック）」を合言葉に、持続可能性（Sustainability）を意識した経営を貫く。

入社式で、武藤社長は新入社員に「皆さんは当社が百周年を迎える時代の主要な人材として、今後の会社の発展に寄与してほしい。会社を未来永劫発展させるため、やるべきことはやっていく。本日入社した七十人の皆さんはその証。健闘を祈ります」と訓示。未来の第一マンを激励した。特別な。」